

こころの便り

第294号
令和6年9月

〒679-1434
兵庫県たつの市新宮町大屋六六八十二
株式会社 新宮運送グループ
代表/木南 一志
Kminami@shingu.co.jp
電話 079-1-75-1212



新宮運送ホームページ

民度が低い

暑さに台風、地震と自然災害には事欠かない我が国の現実のなか、どうかご無事でと祈るしかありません。まさかの時には支えあうという行動をお互いが意識してまいりましょう。季節は確実に秋、そして冬へと向かいます。

さて、世の中にもう当たり前のように根付いてしまった感がありますが、わざわざの注意アナウンスや商品説明などの分かりきったことを説明することが必要なかと考えています。新幹線のホームでは「黄色い線の内側まで下がってお待ちください。列車が動き始めています。ご注意ください。」などの声を何度も何度も聞きます。場合によっては叫んでいる駅員さん、大変です。ほとんどの新幹線の改札で「切符をお取りください。切符が出ます。」「エスカレーターにお乗りの際は、手すりにつかまり、黄色の線の内側にお乗りください。」「お子様連れの方は手をつないでお乗りください。」「手すりから外側へ顔や手などを出すと危険です。」調べてみると、法律でガイドラインまで決められているようです。

ビンの容器には「割れると怪我をしますの
で、ご注意ください。」それはそうでしょうと言いたくなるような表示を繰り返していく中で刷り込まれていくのは、自分には責任がない

という自己主張の条件です。裁判になれば、書いていなかったために責任を問われることになる。おかしいとは思いませんか？

確かに企業責任を問われる事故が起きてしまふと対策として取り組まなくてはならないことが出てきます。しかし、ビンを落とせば割れて怪我をするくらいのは子供たちでも分かります。責任逃れのための表示が多くなって、常識のレベルを下げていくことにつながっています。

結果として、自分の責任で起きたことも他人のせいにする主張が世の中を大きく乱していくこととなります。日本人は凄いと聞かれてきた民度が下がってしまい、今や外国人のほうが日本人らしい行動やあいさつをされる場面に遭遇することも度々あります。

決して大きなことをやろうというのではなく、ちよつと自分の身を引いて道を譲ることや、次の人のためにちよつとした気遣いのできる人でありたいと思います。お互いを思いやる気持ちで世の中を穏やかにしていきたいです。小さな実践をしていきましょう。

被災地にこころを寄せながら

木南 一志 拜

尋常小學校國史 上巻

第十五 後三條天皇 ②

關白教通天皇をはいかりたてまつる興福寺
教通もまた勢にまかせて、天皇の思召にそむくこと少からざりき。教通かつて、其の氏寺なる奈良の興福寺の南圓堂を再建せんため、特に請ひたてまつることありしが、天皇これを許したまはざりき。教通怒りて、ことごとくおのが一族の公卿をひきゐて、朝廷を退出せしかば、天皇はやむことを得ず、教通の請を許したまへり。かくて教通は一度その目的を達したれども、これより大いに天皇を恐れたてまつりて、其の行をつしむに至り。

天皇政治に
はげみたまふ
天皇は、藤原氏の勢をおさへて政治にはげみたまひ、又官吏等がおごりにふけり大いなる別荘などを作るを喜びたまはず、日々の御膳部をはじめ、すべて儉約を守りたまへり。かつて石清水八幡宮に行幸したまひし時、拜觀者の車にかざりの金物うちたるを御覽じて、ことごとく之を取去らしめたまひしことありき。かくて久しくみだれたる政治もおのづから整ひ、人心また引きしまりたり。されど御在位わづかに五年にして皇位を御子^{第七十}白河天皇に譲りたまひ、間もなく崩じたまへり。時に御年四十。前關白賴通宇治にありて之を聞き、折から食膳に向ひゐたりしが、覺えず箸をおとして、かくも御世を早くしたまひしか、御國の不幸此の上もなし。とて惜しみたてまつりたりといふ。

院政の始
白河天皇また御父の御志をつぎて、政を藤原氏にまかせたまはず、御位を譲りたまひし後、なほ院中にて政を聽きたまひしかば、藤原氏の勢はますます衰へたり。